

テーマ2 北海道観光の魅力UP

旭川街あかり計画 ～旭川夜景・新たな魅力の創出～

【背景】減少傾向にある都心部の空洞化を食い止め、旭川らしい都市美の創出を推進し、街の魅力を高める必要性があります

【ねらい】美しい夜間景観の形成を進め、旭川の寒い冬のイメージを一新します

取組状況

常盤ロータリータワーイルミネーション



緑橋通並木イルミネーション



これまでの取り組み

平成7年度より旭川駅前から旭橋にかけての市内中心部にて旭川開発建設部・旭川市・旭川街あかり実行委員会により冬期間のイルミネーション電飾を実施

展開内容

旭川開発建設部は旭川街あかり実行委員会と連携し、国道40号常盤ロータリータワーイルミネーションの設置・撤去を行います。

夜の安全性を高める

道路照明の充実は、夜間の視認性の向上や防犯に役立ちます。また、門灯・玄関灯の点灯を奨励し、維持管理の強化も行います。

夜の演出を強化する

公共空間の照明の拡充と商店街照明の奨励などイルミネーションの導入を強化します。しかし、いやなあかり・明るすぎるあかりなどは抑制・取り去るなど整除します。

夜の美を創る

都心部のあかり演出、樹木の活用、ランドマーク建造物の照明など魅力ある夜間景観づくりを進めます。

あかりの理解を広める

ナイトウォッチングの開催やあかりイベントの充実化を図り広く親んでもらえる景観づくりを行います。また、地域住民の方々の一層の理解を深めてもらうために、夜間景観賞の創設や夜景展望施設の整備も行います。

実施時期：平成18年12月1日～平成19年3月20日

実施主体：旭川街あかり実行委員会

テーマ2 北海道観光の魅力UP

北海道遺産「石狩川」の魅力在未来に引き継ぐ

～ 北海道遺産「石狩川を語る集い」を開催します～

【背景】石狩川は度重なる洪水と闘いながらも、交通・物資輸送の幹線としての役割を担い、北海道の歴史と文化が刻み込まれている母なる川として再認識されています

【ねらい】北海道遺産「石狩川」を核とした地域づくりの新たな取り組みや活性化を支援



これまでの取り組みと成果

「石狩川を語る集い」の開催状況

- ・H17・10・25(火) 石狩市
- ・H17・11・17(木) 江別市 岩見沢市
- ・H17・11・30(水) 滝川市
- ・H18・10・6(金) 美瑛市
- ・H18・10・31(火) 深川市

期待される成果

- ・石狩川と地域のつながりを再発見する
- ・地域づくりの新たな取り組みや活性化への結びつき

展開イメージ

石狩川の流域の方々に、川の変遷や川に関わる生活の歴史(渡船・河氷の道など)を語ってもらうことで、石狩川を更に身近なものとして感じてもらい、地域の財産として世代を超えて語り継いでゆくための第1歩とします。

石狩川の河口から上流に向かって順次開催してゆく「リレートーク」を行い、思いを繋いでゆくことで流域住民の具体的な連携を目指します。

石狩川を観光や教育等の資源として活用することでその価値を更に高め、地域づくりの新たな取り組みや活性化に結びつくよう支援します。

開催内容

- ・実施時期:平成18年12月7日(木)
- ・実施場所:旭川市民文化会館
- ・パネリスト:地元の郷土研究会及びNPO代表など
- ・対象者:地元地域住民など
- ・協働主体:NPO水と緑のふるさと永山を育てる会
ながやま子どもの水辺協議会
あさひばし子どもの水辺協議会